

## 【 周辺環境との調和を考慮した風力発電の推進 】

開発に向けた風況調査等を行い、長期安定的かつ経済的な発電が可能な有望地点において、周辺環境との調和も考慮したうえで、グループ会社とともに開発を推進しています。

グループ会社の串間ウインドヒル(株)は、宮崎県串間市において、串間風力発電所(64,800kW、2020年10月運転開始予定)の建設を2016年9月に開始しました。これにより、年間約51,800トンのCO<sub>2</sub>排出抑制につながると試算しています。

また、同じくグループ会社の九電みらいエナジー(株)は、佐賀県唐津・鎮西地区における風力発電事業(最大28,000kW程度、2020年着工予定、2022年運転開始予定)の開始に向けた環境アセスメント(環境影響評価)を実施しています。



**WEB** 風力発電については、風力発電の概要とあわせて、長島風力発電所(グループ会社の長島ウインドヒル(株))の発電状況をリアルタイムで公開。  
 詳細は [九州電力](#) > 関連・詳細情報(P2参照)  
 > リアルタイムデータ(長島風力発電所)

### 《 風力発電設備とCO<sub>2</sub>排出抑制量(2016年度) 》

単位: kW

発電所	既 設 (約68,000)						計 画 (約92,800)	
	こしき じま 観 島 (鹿児島県)	の まみさき 野間岬 (鹿児島県)	く しま 黒 島 (鹿児島県)	なが しま 長 島 <sup>※2</sup> (鹿児島県)	あまみ ながしま 奄美大島 <sup>※2</sup> (鹿児島県)	わしお だけ 鷲尾岳 <sup>※2</sup> (長崎県)	串 間 <sup>※2</sup> (宮崎県)	唐津・鎮西 <sup>※2</sup> (佐賀県)
出 力	250	3,000	10	50,400	1,990	12,000	64,800	最大28,000
2016年度 CO <sub>2</sub> 排出抑制効果 <sup>※1</sup>	100トン	800トン	実証試験設備	30,500トン	1,300トン	5,100トン	(2017年5月末現在)	

※1: 2016年度の販売電力量あたりのCO<sub>2</sub>排出量(調整後)を使用して試算。  
 ※2: グループ会社による開発。

## 【 発電所の跡地等を活用した太陽光発電の推進 】

当社発電所跡地等を活用したグループ会社によるメガソーラー開発に取り組んでおり、九電みらいエナジー(株)は、2016年8月に大村メガソーラー第4発電所(長崎県大村市)の運転を開始しました。これにより、当発電所(第1～第4)の総出力は17,480kWとなり、2016年度は約11,800トンのCO<sub>2</sub>排出量を抑制しました。また、同社は、2017年2月、九州域外では初めてとなる東広島メガソーラー発電所(広島県東広島市、出力1,000kW)の運転を開始しました。



大村メガソーラー発電所

**WEB** 太陽光発電については、太陽光発電の概要とあわせて、メガソーラー大牟田発電所の発電状況をリアルタイムで公開。  
 詳細は [九州電力](#) > 関連・詳細情報(P2参照)  
 > リアルタイムデータ(メガソーラー大牟田発電所)

### 《 太陽光発電設備とCO<sub>2</sub>排出抑制量(2016年度) 》

単位: kW

発電所	既 設 (約47,000)					計 画 (約43,500)
	メガソーラー 大牟田 (福岡県)	おむら 大村 メガソーラー <sup>※2</sup> (長崎県)	きせぼ 佐世保 メガソーラー <sup>※2</sup> (長崎県)	事業所等への 設置	その他 メガソーラー <sup>※2</sup>	その他 メガソーラー <sup>※2</sup>
出 力	3,000	17,480	10,000	約2,700	約14,200	約43,500 <sup>※3</sup>
2016年度 CO <sub>2</sub> 排出抑制効果 <sup>※1</sup>	1,700トン	11,800トン	6,200トン	—	9,100トン	(2017年5月末現在)

※1: 2016年度の販売電力量あたりのCO<sub>2</sub>排出量(調整後)を使用して試算。  
 ※2: グループ会社(九電みらいエナジー(株)、宗像アスティ太陽光発電(株))による開発。  
 ※3: 共同開発(レナクス相馬ソーラーパーク: 43,500kW)を含む。

## 【 潮の満ち干きを利用した潮流発電の実証事業 】

九電みらいエナジー(株)と特定非営利活動法人長崎海洋産業クラスター形成推進協議会他2社からなるコンソーシアム(共同事業体)は、環境省が公募した潮流発電技術実用化推進事業に事業者として選定され、長崎県五島市沖の奈留瀬戸海域で、国内初となる商用スケールで大規模な潮流発電(2,000kW)の実証に向け、潮流調査を開始しています。(実証期間: 2016年～2019年の予定)



潮流発電機

〔基本仕様〕	
形 式	センターオープン方式 海底設置型
出 力	2,000kW
直 径	約16m
高 さ	約27m
重 量	約1,200t
回転数	10～16回転/分

### 用語集をご覧ください

- 風況
- 環境アセスメント (環境影響評価)
- 潮流発電
- メガソーラー